月刊
2009年
あじぇんだ 6月
京のアジェンダ21フォーラム　事務局通信
月刊あじぇんだは当フォーラムの活動紹介を中心とした
京都発、環境関係の情報発信紙です

「DO YOU KYOTO?」ロゴマーク

京のアジェンダ21フォーラム事務所
〒612-0031
京都市伏見区深草池ノ内町13
京エコロジーセンター2F 活動支援室内
TEL：075-647-3535
FAX：075-647-3536
E-mail：ma21f@mbox.kyoto-inet.or.jp
開室時間：10時～18時45分（木・日休室）
アクセス：京阪電車「藤森」西へ徒歩5分
地下鉄・近鉄「竹田」東へ徒歩13分
市バス・京阪バス「青少年科学センター前」南へすぐ

2009（平成 21）年度第 1 回幹事会報告

～「5 つの重点取組」を再確認し、温室効果ガス大幅削減のための中長期ビジョン策定を～

4 月 20 日（月）に 2009（平成 21）年度第 1 回幹事会を開催しました。年度当初の組織改編・人事異動に伴う役員選任のほか、2009 年度総会開催、2009 年度プロジェクト設置について事務局から提案し、承認されました。特に総会議案である 2009 年度事業計画については、活発な意見交換が行われました。

■2009 年度の事業計画について

総会議案である 2009 年度事業計画については、今年 1 月に開催したフォーラム 10 周年記念シンポジウムでの提案を受け、設立時に設けられた「京のアジェンダ 21　5 つの重点取組」[①省エネルギー・省資源のシステムづくり、②グリーン・エコノミック・ネットワークづくり、③エコロジー型新産業システムづくり、④エコツーリズム（環境調和型観光）都市づくり、⑤環境にやさしい交通体系の創出] を再確認し、各事業との整合性を取りながら進めることが確認されました。また、この 10 年間で、市民の地球環境問題への意識が高まりつつあることから、昨年度からフォーラムで意見交換の場を設けている京都市の脱温暖化中長期ビジョン策定にあたっては、大幅に温室効果ガスの排出を抑制する実効性のある地球温暖化対策を検討していってはどうかという意見が出されました。

【2009 年度の重点取組】

1．京都市の「環境モデル都市・京都」における中長期目標（2030 年までに 1990 年比で温室効果ガス 40％削減、2050 年までに 60％削減）の実現に向けた中長期展望を策定し、京都市地球温暖化対策条例の見直しに向けた取組を各セクターと協働で行う。

2．「5 つの重点取組」を再確認し、交通やエネルギー、コミュニティづくり等の温室効果ガス削減に効果的な取組を強化するとともに、「温室効果ガス削減の『見える化』」に着手する。また、「地産地消」、「生物多様性保全」など、最近の社会情勢を反映した取り組みも視野に入れていく。

3．「京のアジェンダ 21」を市民に広く知らせ、持続可能な京都のまちづくりへの主体的な参加を促進するために、社会的インパクトのある広報活動の実施等、フォーラムの活動の「見える化」を行う。

■2009 年度プロジェクト設置について

①バスと電車で eco グルメ、②家庭の省エネルギー対策、③京都環境コミュニティ活動（KESC）、④京グリーン電力制度の 4 つのプロジェクトを設置することが承認されたほか、⑤中長期展望の策定と、そのための具体的な方策の検討を行うプロジェクトを設置してはどうかという意見が出され、承認されました。特に⑤については、京都市の取り組みと連動し、京都から日本を変えていくくらいの意気込みで取り組んではどうかという積極的な意見が出されました。

2009 年度の事業計画案・予算案は、この幹事会で出された意見を反映し、6月5日の総会で提案され、決定されることになります。

2009年度
フォーラム総会・会員交流会を開催します！

総会では、2008 年度の事業報告を行い、2009 年度の事業計画を諮ります。ご参加お待ちしております。 ※“サロン de エコ” は会費 3000 円（税込）事前申込制

- **開催日　6 月 5 日（金）**
- **開催時刻**　総会：午後 6 時 30 分～ 7 時 30 分
  会員交流会 “サロン de エコ”：午後 7 時 45 分～ 8 時 45 分
- **会場　職員会館かもがわ**
  京都市中京区土手町通夷川上る末丸町 284
  TEL: 075-256-1307　　＊京阪電鉄「丸太町駅」から徒歩約 5 分

京都環境コミュニティ活動（KESC）プロジェクト　2008年度活動報告会

【2009年4月20日（月）開催】

フォーラムでは、京都のそれぞれの地域で、事業者・学校・住民などの各主体が協力して環境問題に取り組む仕組みづくりを目指す「京都環境コミュニティ活動プロジェクト（以下 KESC と言う）」を 2006 年度より実施してきました。今回、2008 年度に活動した４つのチームが活動を発表し、参加者同士の交流を深めるとともに、プロジェクトに関心のある市民に活動について知ってもらうため、「京都環境コミュニティ活動プロジェクト　2008 年度活動報告会」を開催しました。

○ 各チームの参加者からの報告内容 ○

□ 自然エネルギー環境学習チーム

（生田産機工業株式会社　渡辺千裕氏）

4 事業者が合同で、伏見区の藤ノ森小学校、北醍醐小学校で環境学習を行いました。先生から、「家に帰って話をした子も多かったようで、保護者からも、よい経験をさせていただいたと好評でした」というお手紙をいただきました。児童たちに伝えようとすることで、自分たちも成長できます。新聞で取り上げられ、会社としての宣伝効果もありました。

□ 交通環境学習チーム

（株式会社エコロ 21　山沢邦良氏）

仕事で車に関わる 5 つの事業者が、中京区の朱雀第四小学校、右京区の南太秦小学校で環境学習を行い、児童に地球温暖化を防ぐために何ができるかを考えてもらいました。今後は、KESC の担当者が、KESC への参加の意義を、社内で広めていくことが大切だと思います。

□ 市民共同おひさま発電所づくりチーム

（公栄運輸株式会社　山本龍太郎氏、チーム員）

前年度に太陽光発電パネル設置のための寄付を行った、伏見区のつくし保育園で、環境学習の一環として紙芝居を上演しました。「CO2 が増え続けると、地球はどうなっていくのか？」をテーマにした紙芝居を、5 事業者・市民から成るチームで、シナリオから色塗りまで手作りしました。（報告会では紙芝居が上演されました。）

□ 水源の森づくりチーム

（月桂冠株式会社　白澙昌彦氏）

山間部での開発や行き過ぎたスギやヒノキの人工林化などにより、生態系が変化し、森林の保水力の低下や災害が起こるようになっています。チームには 6 事業者が参加し、右京区京北でスギの放置人工林の間伐や、左京区花背地域の住民との交流を行いました。今年は地元と連携して森林保全活動を行うとともに、小学校等で森の大切さについての環境学習を行っていきたいと考えています。

会場を交えた意見交換では、「KESC への参加を社内で業務として位置付け、他の社員にも参加を促すためにはどうすれば良いか」、「チーム間の連携により、更に面白い取組ができる」といった質問や意見が出されました。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

こどもたちが目を輝かせ、楽しく環境問題に取り組み、さらに家族・地域へも浸透すれば、環境問題に取り組むことが、これからは当たり前のことになるのではと思います。2009 年度は、新たな地域やテーマでの実施、チーム同士の連携など、これまで以上に発展した取組を目指します。皆様のご参加をお待ちしています。

（担当：上野）

2 家庭の省エネルギー対策プロジェクト

2009 年度は、5 つのプロジェクトを実施します。

数回に分けて、各プロジェクトを紹介していきます。今月号では、②**家庭の省エネルギー対策プロジェクト**の内容を紹介します。

2009 年度プロジェクト

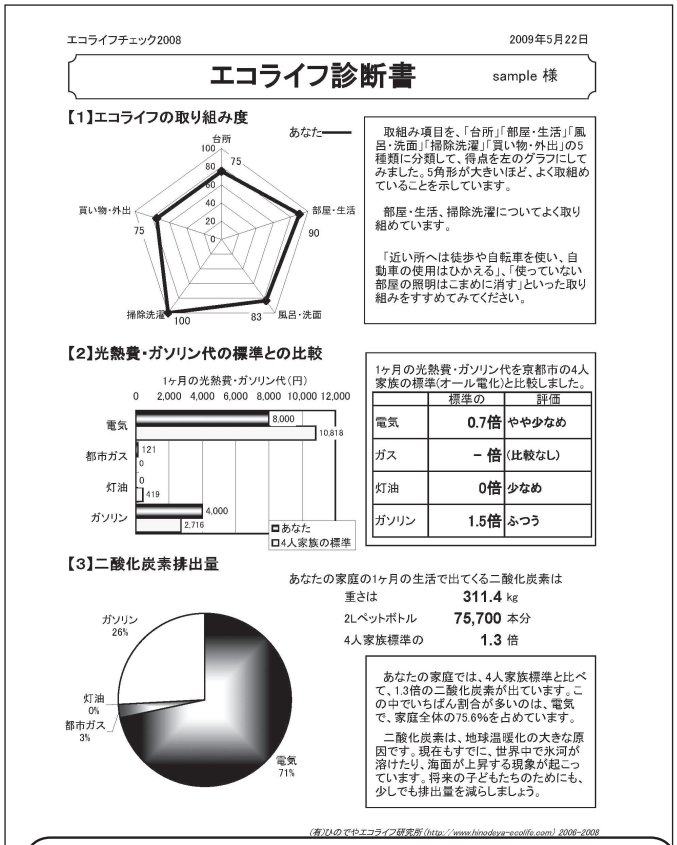
1. バスと電車でecoグルメ
2. 家庭の省エネルギー対策プロジェクト
3. 京都環境コミュニティ活動（KESC）プロジェクト
4. 京グリーン電力制度
5. 中長期展望の策定と、そのための具体的な方策の検討

■「家庭の省エネ相談」で 光熱費 DOWN、エコ力 UP！

フォーラムでは 2007 年度より家庭の地球温暖化対策の取り組みとして、「家庭の省エネ相談所」を京都市内で開設し、これまでに 2000 名を越える市民に受けていただきました。

「家庭の省エネ相談所」とは、市民に、日々の暮らしに関する取り組みを「エコライフ診断　記入シート」に記入してもらい、コンピューターで診断して「エコライフ診断書」を発行し、省エネの知識のある「家庭の省エネアドバイザー」が、各家庭に合った省エネのアドバイスを行うというものです。

2009 年度も「省エネ普及ネット・京都」の協力を得て、市内 25 箇所で 1000 名の参加を目標に実施します。4 月以降、市内のホテルやイベント会場で開設し、これまでに 47 名の市民に受けていただきました。6 月からは、京都市の「DO　YOU　KYOTO？」プロジェクトの一環として、区役所・支所で開設する予定です。お近くで開設する際には、年間の電気代、ガス代等が分かるもの（明細書、家計簿等）をお持ちの上、是非お立ち寄りください。　（担当：池田）



【発行される「エコライフ診断書」】
一ヶ月の生活で出てくる二酸化炭素の重さ、標準家庭と比較した結果などがわかります。

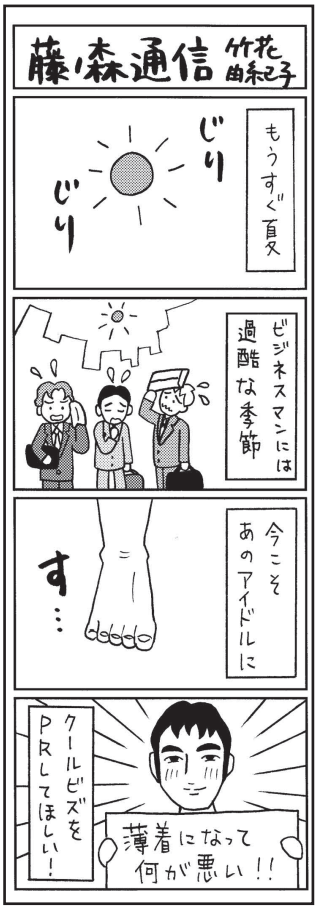
事務局動静

事務局スタッフの動きを報告します 4/16 ー 5/15

4月	20日(月)	幹事会／ KESC2008 年度活動報告会
	24日(金)	事業打ち合わせ
	28日(火)	京都市交通局との打合せ
5月	5日(火)	家庭の省エネ相談所（地球愛祭り）
	8日(金)	京グリーン電力制度打合せ
	11日(月)	こどもエコライフチャレンジ会議／京都商工会議所との打合せ
	14日(木)	立命館大学　小幡ゼミにて事業紹介／内藤代表との打合せ
	15日（金）	事業打合せ

京グリーン電力制度　太陽光発電設備紹介②
かがやきおひさま発電所・りょうがおかぽかぽか発電所

京グリーン電力制度では、京都市内の太陽光発電設備で作られた電力の持つ、環境にやさしいという価値“環境付加価値”を、証書の形にして、京都市内で事業活動やイベントをされる事業者・行政等に販売しています。売上代金は、太陽光発電の普及のために役立てられます。この“環境付加価値”をフォーラムに提供し、京グリーン電力制度にご協力くださっている発電設備を紹介します。



●かがやきおひさま発電所

・所在地　京都市伏見区小栗栖北後藤町 1
　　社会福祉法人　照真福祉会　かがやき保育園
・所有者　特定非営利活動法人きょうとグリーンファンド
・提供量（2008 年度計　17,300kWh 相当量）

かがやき保育園では、1980 年 4 月の開園当初から、少人数で家庭的な手作り保育をモットーに、命の大切さや、四季のうつりかわり、自然の営みやふれあう喜びを知り、豊かな感性と感謝の気持ちを育む保育を実践しています。

2006 年 12 月の「おひさま発電所」設置以降、未就園や在宅の子育て家庭への支援や子育て情報の発信とともに、地域や社会に、環境にやさしい、地球と命あるものが共存できるエネルギーについても発信しています。

【写真 上：かがやき保育園　外観、下：同表示盤】

●りょうがおかぽかぽか発電所

・所在地　京都市山科区御陵荒巻町 50-1
　　社会福祉法人　鏡陵福祉会　陵ヶ岡保育園
・所有者　社会福祉法人　鏡陵福祉会
・提供量（2008 年度計　10,000kWh 相当量）

陵ヶ岡保育園では、1973 年の開園以来、「“太陽”のように、“花”のように明るく、やさしいこどもを育てたい」という保育方針のもと、一人ひとりの個性を大切にしながら、明るく、楽しく、元気よく遊ぶことを通して、自立心と集中力を養い、協調性と豊かな表現力をもった子どもの育成を目指して保育を行っています。

おひさま発電所設置以外にも、雨水タンクを設置して泥んこ遊びの後の手洗いや植物の水やりに雨水を利用したり、牛乳パックやエコキャップの回収を行うなど、熱心に環境の取組を進めています。

【写真 上：陵ヶ岡保育園の太陽光発電パネル、下：同園庭】

事務局短信　エコポイント対象のエコ家電が表示している「省エネラベル」は、フォーラムから生まれた成果なので全国区になり嬉しい反面「エアコンの無い生活」という選択肢が失われていることが気になります。（西本雅則）／新型インフルエンザが大流行。何人かの方が書いておられますが、このような奇病は環境を破壊し続ける人類への警告なのでしょうね。とりあえず早く収束することを願うばかりです。（>_<）（小山直美）／ GW も終わり、真夏のような数日が続きました。夏を前に早くも衣替えです。衣替えといえば、私が着なくなった洋服を事務局職員の小山さんに着ていただいています。まさに、事務局内リサイクル。1 粒で 2 度おいしいって感じで、とってもうれしいです。（池田周子）／我が家は山に囲まれ、東福寺・泉涌寺・伏見稲荷と沢山の観光名所があります。帰宅していくと気温が 1 ℃・2℃下るのに、通勤ルートに行けば自然解凍されていく私のお肉。”ダイエット”と喜んでばかりいられないヒートアイランド現象。これからの季節、益々重要な課題と痛感しています。（上野かおる）／気象の異変が叫ばれている今日、今年も梅雨の季節がやって来ました。日本ならではの自然の移ろい、こわすことのないようにしたいものです。（小西賢人）